



こんにちは

白子の議会

です

第114号

平成26年11月1日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 姉妹都市20年を迎える小谷村への行政視察

第3回 定例会

平成26年第3回定例会が9月17日開催されました。
一般質問は、4名の議員が町政をただしました。



- 4議員が一般質問……………2～5ページ
- こんなことが決まりました……………6ページ

一般質問 町政をきく

今後の財政健全化と運営について

東海林 東治 議員

議員 白子町の財政に関する将来負担比率についてみると22年度においては、69.2%であります。24年度は、13.4%と低下している。この状況について町は、要因を確認した中でどのように安定化につなげて来たかを伺います。

健全財政に務める

町長 25年度は5.6%であります。将来負担比率は、起債いわゆる借金が大きくなると比率が変わります。今後の事業の起債償還が始まると比率が高くなります。健全な財政運営に務めて行きます。

歳入減対策は

議員 地方交付税、特別交付税、臨時財政対策債が減額方向にあります。

自主財源の確保が基本である中で、白子町において23年度の不納欠損額が5095万円、24年度は、7140万円あります。自主財源が毎年、不納欠損として処理されている現状を踏まえた中で今後、どの様な施策を講じ自主財源確保のための、財政健全化プランを維持するのか伺います。

自主財源の確保を基本に努力する

町長 町民個々の納税が自主財源であり、毎年、多額な不能欠損を出しております。法律に則って差押え・時効の停止を行う他にあらゆる対策等工夫をした結果の中でこの数値であります。

又、副町長を先頭に滞納者対策会議を設置し、係長以上の職員全員で、土・日、夜間でも滞納対策に臨んでおります。今

後、自主財源確保を基本に努力してまいります。

子育て支援対策の拡充について

議員 白子町第4次総合計画の中に、教育環境の整備において、計画的な施設の補修、改良工事を進めるとあります。学習意欲向上の為、エアコンの設置と洋式トイレの改修について伺います。



学校の授業風景

調査の必要あり

町長 学校と相談し、児童、生徒のニーズにあったトイレを目指します。エアコンの設置は、初期費用が相当かかります。太陽光等の考えも含み、調査してまいります。

通学路安全対策と表示版歩道カラー塗装

議員 通学路表示版、通学路カラー塗装の整備計画は検討されているか伺います。

子供の安全第一

町長 年一度、学校、教育委員会、保護者、交通安全協会も含め合同点検を実施し、表示版は、自治会、学校より要望があった所は設置しております。カラー塗装に関しては、幅員の制約がありますが、状況判断の上、学校と協議し設置を考えたいきます。

少子化対策について

宗島 理仁 議員

議員 2012年の合計特殊出生率は1・41と低い水準にとどまっております。少子化対策は早期に実効性のある対策を打ち出す必要性があります。

そのための地域における少子化対策の強化のためには、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」を行うことが重要であると思いますが、少子化対策、子育て支援について、町の現状の施策について伺います。

子育て施策の成果を上げるために

町長 町では、特定不妊治療費用の一部助成、妊婦健診、子供の医療費助成等々、様々な形で支援をしています

しかしながら、多くの施策を講じていますが、現実としては、成果が上

がっていないと思っております。

相談業務について

議員 子育て支援の中でも、「相談」は量や形式だけでなく、むしろ質が問われるケアです。

現在では、妊娠・出産・子育てについての情報があふれているかのように見えます。しかし、各自の状況に的確に対応した情報や助言を得ることは容易ではありません。

子育てへの不安や、子育て中の母親を孤立させ、子育てにつまずく悪循環を生ませてしまっているかもしれません。

わが町でも、子ども家族の目線に立ち、切れ目ない相談・支援拠点や、相談業務は整備されているのか、内容を伺います。

保健福祉課長 母子手帳を交付した際や、新生児訪問の時に、保健師が状況について伺っていきま

す。

その中で、特に困ったことや、あるいは不安なことがあった際は、相談できるように、保健師にお願いをしております。

産後ケアの充実について

議員 出産後の女性が十分に休養をし、赤ちゃんとの生活に慣れていく支援をする、産後ケアの充実が注目されています。

わが町も、このような先行事例を研究し環境整備の施策や、予算に反映していくべきだと思いますが、見解を伺います。



今後調査を行う

保健福祉課長 産後のケアについて、今後どのような状況になっていくか、調査をしていきたいと思っております。

地域少子化対策強化交付金について

議員 国では、危機的な少子化問題に対応するため、地域の実情に応じた独自の先駆的な取組みを行う地方公共団体を支援するとして、地域少子化対策交付金を創設いたしました。

わが町も検討すべきだと思いますが、町長の見解を伺います。

周辺市町村と連携をして

町長 長生郡市の市町村でも少子化問題について、深刻だと捉えており、

この交付金については、周辺市町村と連携して、可能かどうか調査したいと思っております。

空き家対策について

議員 総務省の住宅・土地統計調査では、県内空き家率は他県と比べ高いとされています。

わが町も早急に、空き家対策の施策の整備をすべきだと思いますが、現状はどのような状況になっているのか。そして、有効活用するための施策の考えはあるのか伺います。

現状を把握から

町長 空き家の問題は、火災、それから環境面と様々な面で憂慮しています。

まず実態調査をし、結果を把握した中で対応していきたいと思っております。

低米価における町の稲作について

梅澤 哲夫 議員

議員 現在、稲作農業に係る世代は、60代70代が中心でありこれからの地域農業を考える時、本年は予想以上に低米価であり経費の支払い次年度への対応に追われ、先行の不安と絶望感に陥っております。

前年との比較で1俵3千円の下げとなった今の対策、取り組みについて伺います。

収入保険制度の早期導入を要望中

町長 本年度から農地の中間管理機構の受け皿として町がやる事になっていましたが、この様な低米価では水田の貸し手はいても借り手はいない。国県等に経営所得安定対策として、収入保険制度を早急に実現するよう、要望している。

自由主義経済の中、米の余りすぎもあり、需要

に見合った生産をしてほしい。所得安定対策に稲作農家670戸の内84戸しか加入していない。国の施策の対応が少ないといえる。

又、首都圏に近いメリットを生かし付加価値のつく生産販売を考えてい。

次世代への経営者育成は

議員 今後の地域農業の基幹である水田経営のあり方、特に高齢化している経営者に対して、若者も当然ですが、定年退職後の人達、特に大型機械の免許の取得などに配慮はないか伺います。

複合経営の強化を

町長 農政の中で担い手の確保・育成が必要不可欠です。

また、安定経営や、複

合経営の強化として町ではトマト生産農家の所得倍増計画を目標とし独自の指導を始めている。また、免許の取得など要望があれば対応していきます。

稲作作業の中核の今後は

議員 地域稲作の基軸として運営されてきた農協ライスセンター、町内のミニセンターの老朽化がみられるが、今後の運営改善について伺います。



今後も受皿として

町長 農協のライスセンター、ミニセンターにお

いて町の半分以上の面積を担ってもらっております。今後とも経営の安定化の為、受け皿になってもらいたい。農協のライスセンターについては、農協の考え方を注視し対応していく。

子供達の登下校は

議員 児童の通学の安全対策について、登下校時における不慮の事故等のニュースを耳にしますが町の対策について伺います。

慎重、丁寧な対応で

町長 今も通学班をつくっていますが、少子化の為、学校から離れるとひとりになってしまう現実があります。

登下校の安全確保については重要なテーマであり慎重、丁寧に対応したい。

パトロール中とは

議員 車のドア等にパト

ロール中の表示が見うけられますが、どのような団体がやっているのか。また、登下校に関して、地域の人達との係わりをもう少し考えられないか伺います。

地域全体での見守りをお願い

町長 町の青少年健全育成町民会議、地区育成会があり、子供110番のステッカー、シールを張り対応し、万一時、逃げ込むシステムが来ています。しかし、少し古くなったので見直し整備を行います。

ボランティアに対しては、多少の危険が伴いますので保険の加入、帽子、チョッキなどの貸与もしています。



学校給食

直営か民間委託か

基本的な考えは

市川 隆子 議員

議員 学校給食は、学校給食法によって教育の目的を実現するためのものと位置づけられています。

現在、学校給食業務運営の合理化により、調理職員のパート労働化や調理の民間委託化をすすめる自治体が増えていきます。成長過程の子どもたちが食べる給食をコスト面だけですすめていいのか疑問が残ります。

町では、今の食数で十分手づくり給食ができるとセンター方式を選択しましたが、今後の業務の方向性について町長の基本的な考えを伺います。

直営が望ましい

町長 新しい給食センターになっても、現在実



工事が始まった学校給食センター

施している給食の理念、安全・安心そして手づくりでおいしい給食、しかも楽しさを加えた給食にして充実させたいと考えています。それには、栄養士や調理員一人ひとりが、給食の理念を認識して全員で取り組む態勢づくりが必要と考えられます。それを実施に反映させるためには直営が望ましいと考えています。

子ども・子育て支援制度の内容は

議員 来年4月から保

育・幼稚園・学童保育など、子育て支援にかかわる制度を根幹から転換する、子ども・子育て支援制度の実施が予定されています。

新制度は、保育の市場化を目指した保育所制度改革をベースにしたもので、これに幼稚園との一体化、こども園化が加わり、さらに教育制度改革などが絡み合っており、非常に複雑になっています。来年4月から実施が予定されているこの制度についての内容を伺います。

保育認定の申請が必要になる

町長 本町の現状から、変わるのには保育所の入所申込に、保育認定の申請が必要になり、そのほかは小規模保育で、町内で

開業する事業者があれば認可事務が発生して、認可となった場合は、財政支援が必要となります。

高齢者の足の確保 町の対応は

議員 町を初めとする地

方部では、車の保有、利用が当たり前になっており、地域公共交通の利用がこれからもさらに減少し続けるのではないかと懸念があります。民間バス路線が経営的に維持できなくなり、廃止されようとする状況に対して、行政がかかわって住民の足を確保しようとする動きは、既に30年くらいの長い歴史があります。

高齢者の事故も少なくない、というなかで、さまざまな視点から地域公共交通を真剣に考えることが、今まで以上に強く求められると思います。町はどのように対応していくのか伺います。



町内の路線バス

路線バス 運賃割引も

町長 町を走る路線バスと町が新たに設けた高齢者向けタクシーの利用助成で、高齢者の足の確保はされており、利用者も順調に増加しています。

また、バス事業者である小湊鉄道独自の取り組みとして、69歳以上の運転免許証を自主返納した方を対象に、路線バス運賃が50%割引という、ノーカー優待証も発行されていますので、この活用を促していきたいと思っています。



条例の制定

◆白子町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例(可決)

【内容】子ども・子育て支援新制度が創設され、子育ての実施主体を市町村にするための法整備に伴う条例の制定

◆白子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(可決)

【内容】子ども・子育て支援法の制定に伴い、特定教育・保育施設等運営に関する基準を定めた条例の制定

◆白子町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(可決)

契約の締結

【内容】子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供を推進するため児童福祉法等の法整備に伴う条例の制定

◆防災行政無線屋外拡声子局デジタル化更新工事請負契約の締結(可決)

◆南日当橋橋梁整備工事請負契約の締結(可決)

●臨時議会(8月25日)において白子町学校給食共同調理所改築工事(建築・厨房機器設備・電気設備・機械設備)請負契約の締結(可決)

※平成27年4月より新学校給食共同調理所での給食が始まります。

決算審査特別委員会設置

平成25年度一般会計外 五特別会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に付することに決まりました。
◎委員の構成は次のとおりです。

決算審査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 酒井良信 |
| 副委員長 | 市川隆子 |
| 委員 | 三橋昌好 |
| 委員 | 今関勝巳 |
| 委員 | 梅澤哲夫 |
| 委員 | 東海林東治 |
| 委員 | 宗島理仁 |

町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。 TEL33-2169/FAX33-4132
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

編集後記

収穫の秋も終わり、今年は大豊作でした。まだ作況指数が発表されませんが今までにない指数になると思います。

お米が多く取れるのは嬉しい事です、価格の暴落で農家の収入は無いに等しいと思います。このままでは米農家はやっていけないのでは。過剰生産だから価格が下がるのは当たり前だと思えます。皆で協力し生産調整を行ない、適正な生産量にすれば価格も安定すると思います。今年は減反に協力した農家のほうが良かったかと思えます。

来年も過剰生産では価格のほう心配です。皆で協力し安定した米づくりをしようではありませんか。



齊藤 豊彦